



全国からつどう国会請願の代表団。衆・参両院議員に要請行動をおこなう。



408

編集発行人 針谷宏一  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
http://www17.plala.or.jp/chian  
定価 50円

# 国会請願の成功を力に 会員1万6千を実現しよう

## 主な記事

全国から一四五人が国会請願へ	2
江田参議院議長に要請	4
顕彰碑探訪/川上貫一	5
時の焦点/洞爺湖サミット	5
抵抗の群像/布施辰治	6
同盟歌壇/碓田のぼる選	7
書棚/『中国残留邦人』井出孫六著	7

五月十三日の国会請願は四十二都道府県から百四十五人の代表が三十一万三千八十一筆の署名を持って参加、四百五十五人の衆参両院議員を訪問しました。この日、治安維持法犠牲者の水谷安子さん(96歳)は「全国の同盟のみなさんの粘り強い活動に感謝するとともに要求実現までがんばります」と決意をのべられました。

同盟は今年創立四十周年をむかえ、四月十三日の「治安維持法の犠牲者と語り合おう」とい、はじめ、「九条世界会議での分科会開催」、犠牲者の体験を綴った『抵抗の群像』と『治安維持法と現代』特別記念号を発行、多くの方々から共感と感動の声がよせられています。皆さん、これらの成果の上に立ってさらに四〇周年事業の成功と独自の課題の前進、会員拡大に主力をあげようではありませんか。

昨年の大会以降千名を回復した北海道本部、目標の四百五十名を突破した福岡県本部をはじめ、二十四の道府県で百二十五名の会員を増やしています。これらの貴重な経験から多くの教訓を学び、全都道府県の本部と支部が、記念すべき四〇周年の年として会員拡大目標全国二万六〇〇〇名会員を実現しましょう。

憲法改悪反対の声が国民の六割に達し、靖国派の新たな策動や自衛隊の海外への恒久派兵法を許さないために、同盟の真価を発揮し国民共同の運動を大きく発展させましょう。

法に維持者  
治安維持者  
治性者  
治性者

# 国は謝罪と賠償を

## 三二万余筆の署名を持って

### 全国から一四五五人が国会請願へ

治安維持法国家賠償要求同盟は五月十三日、戦前の治安維持法犠牲者に対して、国に謝罪・賠償・実態調査などを求めて、国会請願をおこないました。全国から三十一万余筆の署名をもって百四十五人の代表が衆・参両院議員会館を訪問し、要請しました。

集会では、神戸照会長代行がこ



挨拶される日本共産党仁比聡平参院議員

の二年間の署名活動での奮闘に感謝を表明するとともに、参院選挙後の政治状況の前進をとらえ、議員に対して誠意をもって協力を訴えよと呼びかけました。

あいさつに立った日本共産党の仁比聡平参院議員は、憲法守れの世論が多数を占め、たたかい続け

## 国会請願参加者の声

### どの秘書も署名を預かる

北海道 富堂保

全道から集められた二万五千筆を超える署名はとても重く、それ以上に集められた方々一人ひとりの熱い思いが伝わってきました。

議員要請では、衆院本会議が開かれたために、議員は不在で秘書が応対しましたが、どの秘書も要請を聞きながら署名を預かりました。政党内・議員間で対応に大きな差があることを実感しながら、

てきた治安維持法国家賠償同盟に敬意を表するとともに、いまだ犠牲者に謝罪・賠償しない政府の姿勢を批判しました。

代表団は、それぞれ地元選出の議員室を訪ねて要請。参院では与野党逆転の状況もあり、ほとんどの議員室で請願は好意的に受け止められ、紹介議員も全体としては昨年を上回る見通しであることが、こもこもに報告され、来年はもっと多くの成果を誓い合いました。

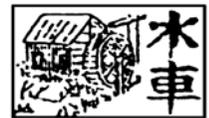
改めて「どの党・議員が私たちのことを真剣に考えているのか」を知りました。

集会では、北海道を代表して発言させていただきました。全国各地の取り組みを聞くと、「帰ってからも頑張らなければ」という気持ちになります。

### 情勢の大きな変化を実感

埼玉県 林 秀

二人で組んで自民・民主両党の七人の議員の部屋を訪問しました。ほとんどが秘書の方々の応対でしたが、ある自民党議員の秘書が「私の叔父も治安維持法の犠牲者



中国・四川大地震、ミャンマー・サイクロン被災でケタはずれの死者・行方不明者。かけがえのないのちが失われた 宮城

県山元町前町長の森久一さんが「憲法九条を守る首長の会」の呼びかけでの発言。「この町からも日清、日露、第二次世界大戦と戦死者だけで五百九十一人を数えています。大変なことです。平和が一番大事という点は明確にしていかなければなりません」。同盟の『治安維持法と現代』誌が三・一五大弾圧八〇周年記念特集を掲載している。犠牲者の多くは二十代三十代の若さ。残酷な拷問と劣悪な獄中生活で獄死や、ひん死の状態で釈放直後に死亡したという記録が何と多いことか。その累計は同盟調査で虐殺八〇人以上、獄死一六一七人に及ぶ。こうした犠牲性によって獲得した憲法を改悪するなど許すわけにはいかない。四川、ミャンマーのいのちの犠牲は社会がどんな進歩をつくりだすのか、人間の英知が試されている。(佐)



要請に応える千葉景子民主参議院議員・左

「なのです」と話して署名簿を受け取りました。意外なところに理解者がいてうれしくなりました。

行動後の集会でも、「今回初めて紹介議員を承知してくれた」という報告が目立ち、参院選での与野党逆転や「九条の会」の発展などが反映していると思われて、情勢の大きな変化を改めて実感させられました。

それにしても、こうした平和と民主主義の源流を担う人たちの高齢化が進んでいることも事実、若い人たちにどうつなげて行くこと

ができるのか、と私はいま熊谷の地での自らの切実な課題、と受け止めて考えていることです。

運動を引き継いでいけます

初めて参加して、改めて自分の不勉強さを実感しました。多喜一や渡辺政之輔など侵略戦争に反対した多くの人々が、この法律で投獄・拷問・虐殺されたのだと頭の中でつながりました。

ドイツやイタリアでは、謝罪と賠償をおこない、韓国でも独立に貢献した英雄として顕彰し、その償いを国として行っています。日本は六十年たっても侵略戦争を認めず、その被害者に対して何の補償もしていないので、強制連行・従軍慰安婦などの訴訟が絶えません。民主主義の礎になられたご家族の苦難を想うと、胸がいっぱいになります。

多くの方々の犠牲の上に今日があり、今のくらしがあります。民主主義を逆戻りさせないためにも運動を引き継いでいきます。戦前・戦後ご苦労をされて、復興に心血

を注ぎ、高齢を迎えれば「後期高齢者医療制度」とは、何と残酷な政府だろう。怒りを禁じえませんが

署名の重さに仲間の努力

今年、初めて国会請願行動に参加させていただきました。私は、昨年四月のいつせい地方選挙で山形市議に初当選し、その後山形支部の幹事を引き受けました。

それ以前から、地域の先輩活動家のみなさんが熱心に署名を集めていることを知っていましたし何

### 署名目標達成へ

七支部が目標達成、一万五千筆を初めて突破

新潟県 北村直吉

全体の30%の目標をもつ新潟支部が二千筆近い超過達成、県内十支部中七支部も次々に目標を達成ついに全県目標一万五千筆を初めて突破しました。

スタート早く「鈴木顧問三百余筆の署名」、その報告で「感動して、行動せずにはおれなかった」

かとお世話になってきました。

山形県の一万を超える署名を国会議員に届けるといって大役を任せられ、ともに参加した島津さん、金子さんと運んだ署名の重さに、それを集めた仲間の努力を思うとともに、自分の活動を反省しました。

集会では、私が若年者(三二歳?)であることから、あたたかい声をかけていただき、逆に励まされました。

自分の子どもたちの未来のためにも、今後がんばりたいと思います。

と奮起した支部。会員もいつもなら五筆、十筆が、今回は三十筆、五十筆、いや二百筆、三百筆と先進が勢いをつくりました。

「今年も分会にいたるまで組織的に取り組んでくれ千二百八十余筆を約束してくれた労働組合」など。四月には「歴史を学び桜を楽しむ旅」を企画、楽しみ元気を出し合いながらの取り組みとなりました。

今年こそは の宿題を真本部・(四ページへつづく)

## 江田五月参議院議長を訪ね 中央三役、犠牲者遺族が要請



五月 たい」と要請

二十日 午後五時、中央三役、犠牲者遺族の四津谷伸子さんら十人が、参議院議長公邸に出向き、江田五月参議院議長と面会、約三〇分にわたって要請を行いました。

神戶会長代行は、「同盟の調査による治安維持法犠牲者の生存者は百五人と少なくなっている。国は謝罪と賠償を急ぐよう議長の方を願います。」

江田議長は、「父江田三郎氏が戦前に農民運動で治安維持法により検挙、苦しかった家族のことなど話され、「皆さんの運動は大切なことで、おっしゃるとおりと思う。このはじめはつけなければ」と述べられました。

なお一行には日本共産党井上哲士、仁比聡平両参院議員も同行していただきました。

## 同盟創立40周年記念出版 『抵抗の群像』

第1集

定価1500円

会員学習に最適！ 全国で掘り起こした闘いの青春群像に学び、普及しましょう

(三ページからつづく)

支部が団結して、昨年より四千七百五筆多く積み上げての目標達成となりました。

自主目標たてて六年、  
念願の一万筆を超過達成

今年の請願署名は、自主目標をたてて六年ぶり、念願の一万筆を一千百九十筆超過達成して、代表団に託しました。三月末の到達は八千筆。支部代表も参加して開いた四月の県本部は、何としても目標達成を意思統一しました。

すでに三年連続自主目標六千筆を達成していた岡山支部は、さらに会員や友誼団体に足を運び、目標を千五百筆突破の成果をあげ、全県の推進力となりました。備南支部も過去最高に、玉野支部も二年続けて目標を達成しました。

県本部は、目標達成の手立てとして、役員会を定期的に開き、到達点を明確にし、支部の取り組みや経験をニュースにして発行。県役員が支部に応援に入り、進んだ経験を伝え、四十周年の意義や支

部の役割について議論してきました。

昨年を大幅に上回り、  
十数年ぶりに一万筆を突破

昨年を大幅に上回り、十数年ぶりに一万筆を超過達成しました。

一つは、尼崎、明石、加古川の三支部が目標を大幅に突破し、推進役を發揮したことです。三支部の合計は、全県目標の五七%を占めました。支部は、団体への申し入れ、各行事での署名行動や収集などで役員が力を合わせて奮闘したことです。

二つめは、有力団体の協力です。東播建設労組、阪神土建労組などが、それぞれの行事・集会で昨年を倍する三千筆近い署名に協力をいただいたことです。

三つめは、昨年実績を上回る活動の追求。3・13集会やメーデーなどで昨年を大幅に前進。一人で三八〇筆の収集など、あと五筆、十筆運動で、知人、活動家など、協力者を大きく広げることができたことです。

顕彰碑

探訪

戦後占領下の国会で「占領軍撤退」の演説をした川上貫一

大阪市西淀川区の西淀病院の一角、淀川通りに面して川上貫一代議士顕彰碑がたてられています。

「岡山県立農学校卒、岡山県・北海道・長野県・大阪府庁で社会事業に関与、社会主義者としての道を歩むも天皇制政府により弾圧される。大阪二区より衆議院議員に六回当選、日本共産党中央委員、国会議員団長を歴任、一九六八年九月一二日、病没」が碑文。戦前、社会科学の講座を組織し、「赤旗」新聞の配布にかかわり、治安維持法違反で投獄。当時は、大阪府の

で新たに研究評価する論文が発表されています。

戦後一九五〇年一月の衆議院での国会除名反対演説は有名です。アメリカの占領下「再軍備反対、占領軍の早期撤退」を国会壇上からおこないました。満場寂として声なく、しばらくして自民党席から「議長、こんな演説を許しているのか」と騒然となる状況。衆議院の共産党の議席が川上さんただ一人のときもあり、大阪の誇りでした。こうした川上さんが一九六八年九月和泉市議選挙の応援中に倒れ、西淀病院で亡くなりました。七九年没後一〇年を記念し顕彰碑を建立。壁面にかざられたブロンズ像は高校野球のメダルもてがけた彫塑家の作品です。



社会主義者で、この頃の川上さんの社会事業を近年研究者の手

（大阪市山本一・元日本共産党西大阪地区委員長）

七月七日、九日の三日間、北海道洞爺湖サミットが開かれます。

一九七三年いわゆる石油ショック緊急対策協議のため、資本主義主要国六カ国の首脳会議がフランスで開かれたのが最初です。当時冷戦下もう一方の超大国ソ連をのぞいて、先進資本主義国だけでサミット

ト」頂上会談とはと、その政治偏向が問われましたが、その後カナダが加わり、冷戦崩壊後ゴルバチョフ時代からロシアが招待されるようになり、近年のサミットはG7+ロシアが建前となつていきます。

ことしの主要議題は地球温暖化問題対策と原油価格高騰の抑制など。議長国日本は二〇五〇年には現状の半減という長期計画を強調して、地域環境保全の主導性の国際的評価を期待していますが、すでに国際社会からは数十年先のアドバルーンにとどまらず、現状改善の十年ごと二十年ごとの中期計画の立案と実行とが指摘されています。京都議定書から離脱したアメリカ、削減目標から逆行

洞爺湖サミット

している日本の現状などその責任と反省がきびしく問われるべきです。国際的な投機マネーの暗躍による原油価格の暴騰やサブプライム・ローンなどの深刻な経済問題も主要議題。石油問題では、奇しくも三五年前急遽サミットが開かれた動機の「石油ショック」が、当時アメリカの中東侵攻政策に対する、中東石油産出諸国が連帯して産出制限で抵抗した歴史を想起します。

洞爺湖サミットの成否をめぐって国内の政局への影響も関心を集めています。もはや「死に体」の福田自公政権が、サミットを通じての支持率挽回に一縷の望みを託しているからです。

国連憲章にもとづけば本来国際政治の運営や改善は、国連総会を本舞台に、全加盟国平等の権利を行使して執行されるべきです。現実政治上存在するサミットは国連事業の一部としての分限をわきまえるべきで、五大陸を包摂するために中国はじめインドやブラジルや南ア諸国などの正式参加も課題です。(元)

## 抵抗の群像



# 弁護士布施辰治の 朝鮮と治安維持法

日本国民救援会宮城県本部会長

庄司捷彦

弁護士布施辰治(一八八〇〜一九五三)ほどに、治安維持法と正面から対峙し、格闘した弁護士はいない。二度の下獄と勾留は通算千日を越える。

## 自由法曹団結成等に参加

辰治は宮城県の農村(牡鹿郡蛇田村・現石巻市)に生まれ、一八歳で上京。明治法律学校(現明治大学)で学び、一九〇二年法曹資格を得る。

辰治は自由法曹団と赤色救援会(現日本国民救援会)の結成に参加したことで著名だが、彼の活動は多面的である。ここでは二つの側面を記す。

まず植民地との関わり。辰治と朝鮮との最初の関わりは一九一九年一月八日の「二八独立宣言事件」。

在日留学生が宣言を決議して宣言文を発行・出版法違反とされた。

辰治は、一審有罪の後の控訴審を担当、無罪を得る。辰治は一九一三年「日韓の併合は・侵略であつた。私は・朝鮮民衆の解放運動に特段の注意と努力を献じる」と記述している。この裁判の途上に朝鮮本国では「三・一萬歳運動」

が起きた。この年九月の関東大震災の直後、官憲は朝鮮人虐殺を惹き起こしたが、これを厳しく糾弾した辰治は一九一三年(義烈団事件弁護)、一九二六年(宮三面農民運動支援)、一九二七年(朝鮮共産党事件弁護)、渡朝している。終戦後「朝鮮憲法草案」を起草している辰治だが、この遺品からも朝鮮への深い熱情を知ることができる。

辰治の受難は、小林多喜二が小説にした三・一五事件に端を発している。

## 三・一五弾圧に関わる

辰治はこの事件の弁護に立つが、大阪の法廷での発言が「懲戒にあたる」として裁判を提起された(一九二九年A事件)。翌三〇年には言論活動で新聞紙法違反で起訴される(B事件)。一九三二年A事件判決(除名判決)で弁護士資格を奪われる。翌三三年B事件で禁固三月の判決確定豊多摩刑務所に下獄(四、七月)。

出獄直後の九月、労農弁護団への治安維持法での弾圧があり、辰治も検挙された(C事件)。翌三四年起訴、保釈は三五年三月。身柄拘束は一年半。この間に一時皇太子誕生恩赦で弁護士資格を回復するが、一九三九年五月C事件で懲役二年の判決確定、六月二六日下獄。出獄は皇紀二六〇〇年の恩赦での四〇年七月。在監獄四〇〇日。三男杜生は治安維持法での弾圧を受け、四四年獄死している。辰治の資格回復は戦後のこと。

戦後の講演で辰治は、弾圧された共産党の歴史に触れて「黙秘での闘い」を称えているが、法廷の内外で言論の自由を求めて闘い抜いた辰治の生き方にこそ、現憲法を準備した先人の歩みの一つがある。「押しつけ憲法論」は「自国の先人の足跡に学ぼう」としない自虐史観」といつべきである。

また、朝鮮半島を経由して大陸文化が大和に渡来したことは歴史的事実である。朝鮮を愛した辰治の足跡にこそ、日朝友好の原点がある。

故郷石巻には巨大な辰治顕彰碑がある。先日、韓国羅州市で「羅州宮三面抗日農民運動記念碑」と刻む石碑を見た。そこに「日本人弁護士布施辰治氏の文字があつた。いま、「辰治の生涯を描く映画」が制作中であり、年内の完成を目指している。辰治からどんなメッセージが届くのだろうか。

## 訂正とお詫

前号の「抵抗の群像」I「聳ゆるマスト」文中、一段目三行目「吉部村長」は「木部村長」。四段三行目「彼の義妹」は「父違いの妹」に訂正します。

同盟歌壇

碓田のぼる選

静岡県 江川佐一

テンプルのご真ん中にでんとあり子の買いくれし赤きカーネーション

評 母の日の花。「ど真ん中にでんと」は、子の親によせる

思いを表現している。

東京都 すゞ木すみ江

茹でたての白きアスパラ食す時北の大地の力を思う

評 北海道から送られたものであろうか。「白きアスパラ」

は北のイメージを伝える。

東京都 若林義文

軍隊など解体なして憲法を生かしつらぬく主権者たらん

評 作者は、関東軍元兵士。その戦争体験は、憲法の大事さ

を訴え、決意を歌う。

福井県 元山章一郎

鶯のなく声聞きて目覚めたり心清らかにいる自然のめぐみ

評 鶯の声に目をさました朝の、清すがいい思いを述べなが

ら、自然を深く感ずる。

和歌山県 中平喜祥

年々に命重ねて生きしは「後期高齢者」になるためならず

評 「後期高齢者」医療の、非人間的な本質に対し、命の重

みからの抗議である。

新潟県 加茂川ハル子

昼食時訪問すれば食べかけの食事すすめる義兄のやさしさ

評 認知症の義兄である。結句の「義兄のやさしさ」は、同

時に作者のやさしさ。

岐阜県 和田昌三

国のため死ぬと言われし若き日を思い出させる高齢者医療

評 高齢者医療の根本思想が、国のために死ぬと言われた戦

中と同じとつく。

東京都 山崎 元

護憲から安保廃棄へビジョン説く日野原重明九十六歳

評 「私の証あるがまゝに行く」と題した「朝日」五月三日

のエッセイの感動。

書棚

『中国残留邦人』

置き去られた六十余年

井出孫六著

岩波新書

七五〇円

二・二六事件の戒厳令下に登場した広田内閣によって関東軍の「満州農業移民百万戸移住計画」が正式に国策となった。「満州開拓団」（実際は開拓でなく耕地強奪）とよばれた殆ど強制募集の移民が、農山村窮乏解決の名目と対ソ戦の防壁として侵略戦争の一端を担わせられ、敗戦後言語に絶する苦難・犠牲・悲劇に直面させられたのは周知の事実である。

国政策による、在留邦人への冷酷な「死亡宣言」「自己意志残留者認定（59年）」「いわゆる『国際結婚』した人、あるいは向こうの中国人にもらわれて行った子供といううな、実質的に中国人になつた人が大部分」（58年衆院・特別委）との政府の認識 一貫した棄民思想・政策が浮き彫りにされる。

その移民数で他県を圧した長野県出身の著者が、戦前から戦後六十余年に及ぶこの問題の経過を、多くの資料で克明にたどり、国家による冷酷な棄民政策の実態をえぐり出した書である。余事ながら、私の住む秩父市内（現在）の荒川地区でも「中川村開拓団」の名の分村移民が送り出され、隣接する長野の移民団とかかわり、同様に多くの犠牲者を生み出している。ソ連軍侵攻以後の惨劇と混乱。そして戦後歴代内閣の反共・反中

さらに帰国した在留邦人による国家賠償請求訴訟（「政策形成訴訟」）での〇七年一月の東京地裁判決 原告らの請求をいずれも棄却 戦後処理問題の最たるものに、犠牲者の涙やねがいには国家権力に通じてはいない。

戦前「満州」で暗躍し、戦後反中国の姿勢を変えなかつた祖父岸信介を「誇らしく思う」と公言する安倍前首相の言「個人の自由を担保しているのは国家である」（『美しい国へ』）がよみがえつてくる。

（巽）

### 「九条世界会議」分科会自主企画

## 「戦争と弾圧は手をつないでやってくる」に130人 同盟主催

「武力によらない平和」という憲法九条の考え方を世界共通のものにしようと「九条世界会議」が五月四・五・六日、千葉・幕張メッセで開催。五日に行われた同盟中央本部と映画「時代を撃て・多喜



「製作委員会共同の自主企画」「戦争と弾圧は手をつないでやってくる」分科会には会場「ばいの百三十人参加しました。分科会は、笹山尚人言論弾圧弁護団弁護士が司会し、増本一彦同盟副会長が主催者あいさつ。韓国の李修京・東京学芸大学准教授(写真)が連帯あいさつ、「小林多喜一はなぜ殺されたか」と題して、荻野富士夫・小樽商科大学教授講演。笹山弁護士は、現代の言論弾圧事件について報告しました。荻野氏は、多喜一は特高による「半植民地的な拷問」の実態と非道性を暴露して標的にされた、横浜事件再審の免訴判決が確定、自衛隊情報保全隊の調査活動、沖縄の「集団自決」教科書記述問題や

### 同盟創立40周年記念講演とレセプション

日時 6月18日(水)午後4時〜

会場 東京・全労連会館

講演 「戦前の天皇制政府の戦争責任と政治責任」

(仮題)

## 同盟創立40周年記念特別募金を成功させよう

映画「靖国」の上映妨害問題、そして一連の言論弾圧事件へと、戦前、多喜一が描いた「暴圧」は現代への連鎖を詳しく解明しました。

### 訃報

## 米山順夫さんが逝去

中央常任理事で長野県本部事務局長の米山順夫さんが五月二日、肺がんのため逝去されました。八二歳。生前のご活躍に深謝し謹んでお悔やみ申し上げます。

### 事務局日誌

- 5月1日 メーデー参加署名行動
- 5月3日 憲法集会参加
- 5月4日 9条世界会議全体会
- 5月5日 同・分科会主催
- 5月13日 国会請願行動
- 5月16日 「不屈」編集会議
- 5月20日 中央三役会議
- 5月20日 江田参院議長への要請
- 5月22日 日本国際法律家協会
- 5月28日 「不屈」編集会議
- 5月29日 国際人権活動日本委員会幹事会

## 『治安維持法と現代』

特集 3.15大弾圧80周年 同盟創立40周年

2008年春季号 好評発売中



【主な内容】「3.15事件の連鎖—小林多喜二に触れて」荻野富士夫、「わが郷土の3.15」東京=山崎元、大阪=柳河瀬精、京都=岡本康、愛知=田中邦雄、兵庫=佐野陽三、福岡=堺広毅。「共産党事件の報告」第55回帝国議会衆院本会議秘密報告議事録。「3.15共産党弾圧に対する質疑」衆院予算委員会=山本宣治、「青春時代・治安維持法で弾圧されてもなお、平和と社会進歩のために闘い、いまなお闘いつづける人々」松崎濱子・大川芳夫、金森ひろたか、立川義人。「横浜事件再審・最高裁判決と同盟の任務」増本一彦、「山代吉宗 その道」呑川泰司、「東京高裁が不当判決」荒川庸生、「司法は『権力の笛』を吹くな」松井繁明など、学習材料が満載。A5版、定価1000円、送料210円、各都道府県本部でお求めを。

治安維持法と現代を結ぶ総合雑誌

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟